

第16回全日本女子ボクシング選手権大会



3等陸曹
小村つばさ
ライトフライ級
全日本3連覇

プレッシャーを乗り越え 掴んだ3連覇

同じく今年スーパー高校生として採用の並木月海1等陸士が、またバンタム級に特別体育課程学生候補者集合訓練に参加中の住吉さくら2等陸士（陸自・東北方面隊）の4名。

3連覇が掛かった小村は順調に勝ち進み、迎えた決勝の相手は仲田輪幸選手（平成国際大学所属）。過去に対戦負けなしの相手だが油断は禁物だ。小村はリーチを生かした攻撃で一瞬の隙を突くアウトボクシングでポイントを重ね、ポイント3対0で見事勝利、ライトフライ級3連覇の偉業を達成した。試合後小村は「今年1年ライトフライ級の”絶対王者”を目標に頑張ってきたが台北カップやアジア選手権でのメダル獲得などとても良い刺激となった1年だった。3連覇できたことは本当に嬉しい。準決勝、決勝の相手は仲田姉妹、特に準決勝の仲田幸都子選手との対戦は思うような試合展開にもっていかず厳しい戦いになった。」と大会を振り返り、「これからオリンピックへ向けて本格的なトレーニングを進めていきながら世界で勝てるような選手を目指して精一杯頑張りたい。」と抱負を述べた。

全日本（シニア）初出場で初優勝

集合訓練参加中の住吉さくら2等陸士（陸自・東北方面隊）が、全日本初出場で初優勝の快挙を遂げた。昨年まで高校生だった住吉は、ジュニアでの出場で過去最高は第3位。住吉は持ち前の力強いストレートを武器に順調に勝ち進んだ。決勝の相手は昨年3位入賞の伊藤沙莉選手（ゴールドジム横浜馬車道所属）だ。リーチと力強さを生かした攻撃でポイントを重ね、ポイント2対1で勝利し見事初優勝の栄冠を手にした。試合後住吉は「勝てたことは嬉しいが体力面や技術面などまだまだ未熟。今後は圧倒的な強さで勝てるよう頑張りたい。」と抱負を語った。

集合訓練参加中の2等陸士 住吉さくら (陸自・東北方面隊所属) 初優勝



力強い左ストレートで相手を圧倒する住吉2士



激闘する晝田士長

晝田 借しくも 2位

準決勝で同門の並木月海1等陸士に勝利し決勝に駒を進めた晝田瑞希陸士長は、昨年のチャンピオン和田まどか選手（福井県体育協会所属）との雪辱戦となった。昨年ポイント3対0で負けを喫した決勝から1年、晝田は試合開始のゴングとともに積極的な攻撃を仕掛けた。前半から中盤にかけ和田選手を追い詰めたが最終ラウンドで勢いを失い、ポイント2対1で負けを喫し昨年の雪辱は果たせず悔し涙をのんだ。

総合成績

ライトフライ級	金	優勝	小村つばさ	熊本県出身
バンタム級	金	優勝	住吉さくら	岩手県出身
			陸自・東北方面隊（東北方面通信群）所属	
フライ級	銀	準優勝	晝田 瑞希	岡山県出身
	銅	第3位	並木 月海	千葉県出身

